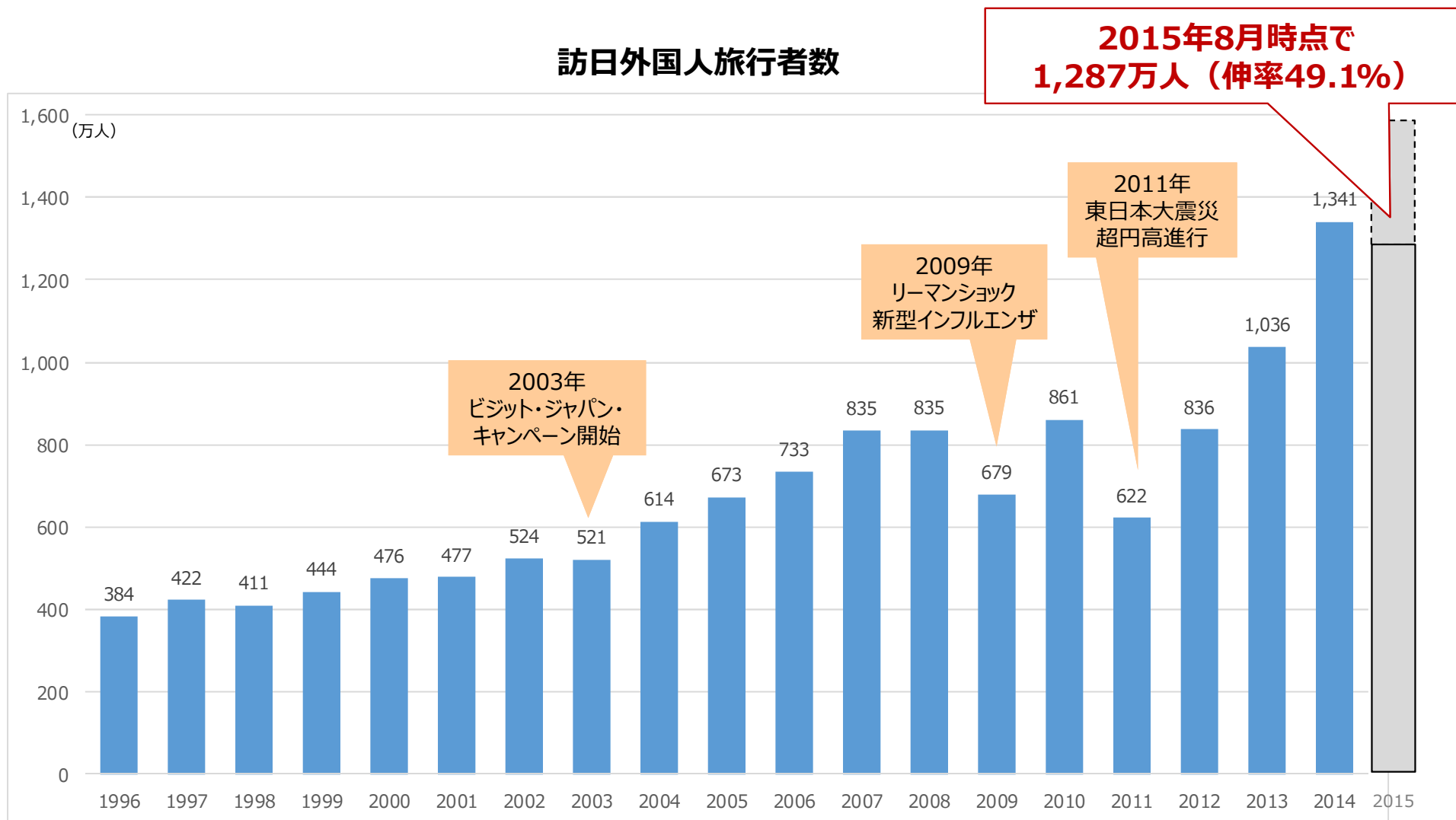


## 訪日外国人旅行者の概況と 訪日中の情報収集について

株式会社 JTBC総合研究所  
事業開発部 主席  
岡田 邦喜

## 訪日外国人旅行者の概況

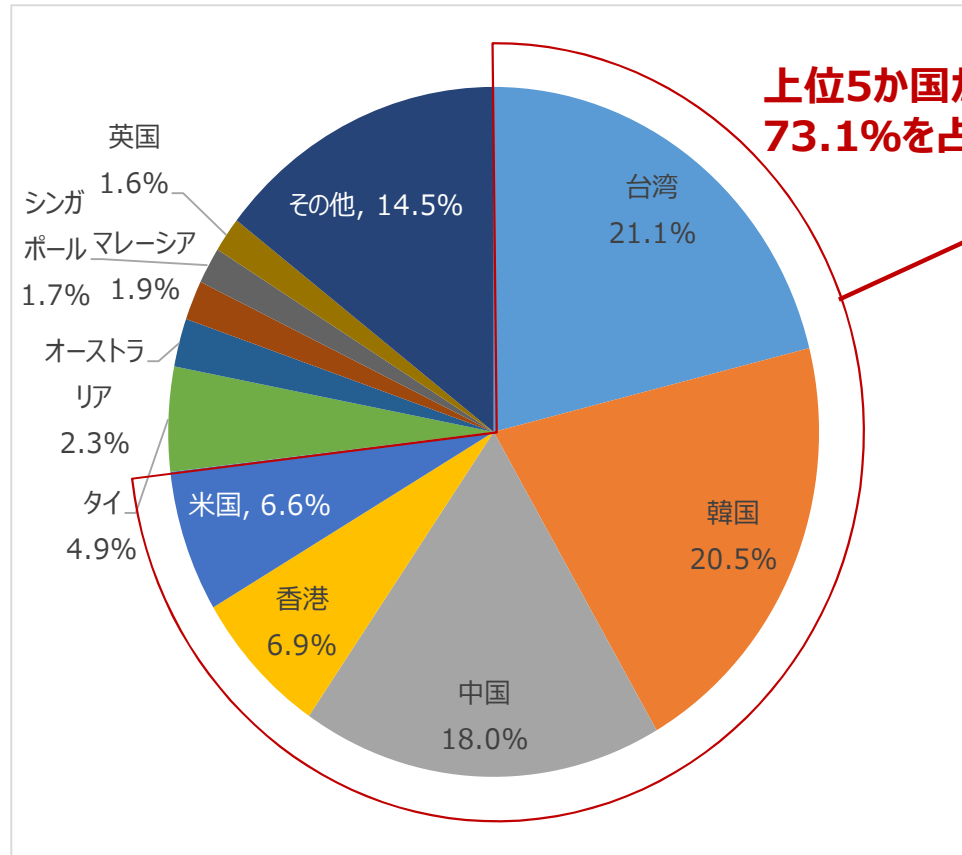
- 訪日外国人旅行者数は増加傾向、2003年のビジット・ジャパン・キャンペーン開始以降大幅に増加している
- 2014年は免税制度の改正、ビザ緩和、円安などが追い風となり、過去最高の1,341万人となった
- さらに増加傾向であり、2015年1月～8月の8か月間で1,287万人を突破している



出典：日本政府観光局（JNTO）統計データ・国籍／月別訪日外客数よりJTB総合研究所にて作成

- 2014年の訪日外国人旅行者数の上位5か国・地域は、台湾、韓国、中国、香港、米国であり、全体の73%を占める
- タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナムの伸率が伸長している

### 訪日外国人旅行者 国・地域別構成比 (2014年)



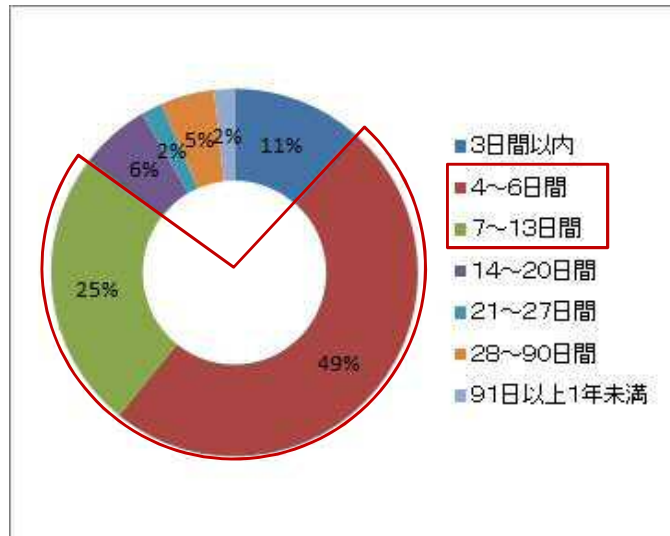
### 訪日外国人旅行者 国・地域別 (2014年)

	2013年	2014年	伸率	構成比 (2014年)
総計	10,363,904	13,413,467	29.4%	100.0%
台湾	2,210,821	2,829,821	28.0%	21.1%
韓国	2,456,165	2,755,313	12.2%	20.5%
中国	1,314,437	2,409,158	83.3%	18.0%
香港	745,881	925,975	24.1%	6.9%
米国	799,280	891,668	11.6%	6.6%
タイ	453,642	657,570	↑ 45.0%	4.9%
オーストラリア	244,569	302,656	23.8%	2.3%
マレーシア	176,521	249,521	↑ 41.4%	1.9%
シンガポール	189,280	227,962	20.4%	1.7%
英国	191,798	220,060	14.7%	1.6%
フィリピン	108,351	184,204	↑ 70.0%	1.4%
カナダ	152,766	182,865	19.7%	1.4%
フランス	154,892	178,570	15.3%	1.3%
インドネシア	136,797	158,739	16.0%	1.2%
ドイツ	121,776	140,254	15.2%	1.0%
ベトナム	84,469	124,266	↑ 47.1%	0.9%
インド	75,095	87,967	17.1%	0.7%
ロシア	60,502	64,077	5.9%	0.5%
その他	686,862	822,821	19.8%	6.1%

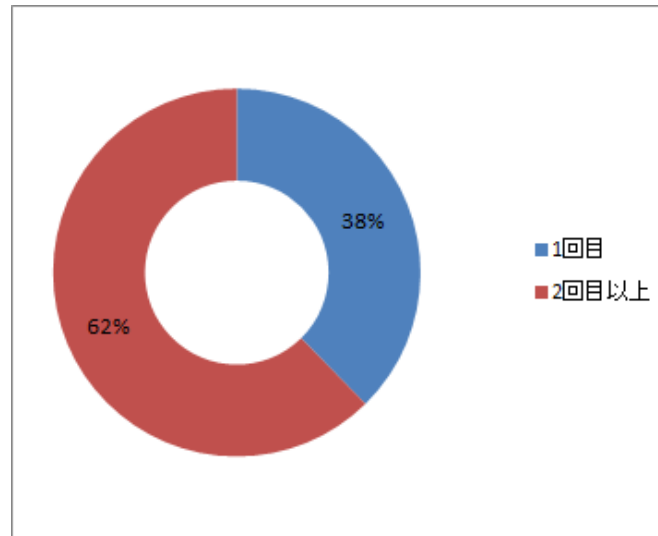
出典：日本政府観光局（JNTO）統計データ・国籍／月別訪日外客数よりJTB総合研究所にて作成

- 4～6日間の滞在日数がおよそ5割と最も多く、4日間～13日間の滞在で75%を占める
- 訪問回数は2回以上が6割あるものの、**リピート率は国地域によって異なる**
- 同行者は家族・友人が最も多く、概ね同水準で自分一人が続く

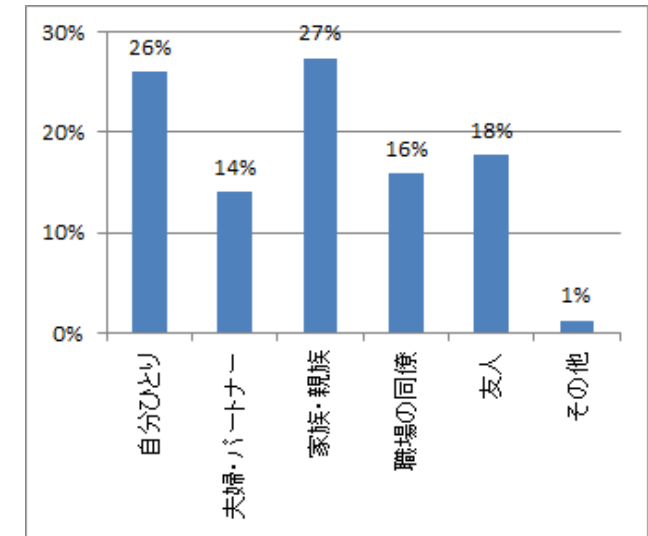
【滞在日数】



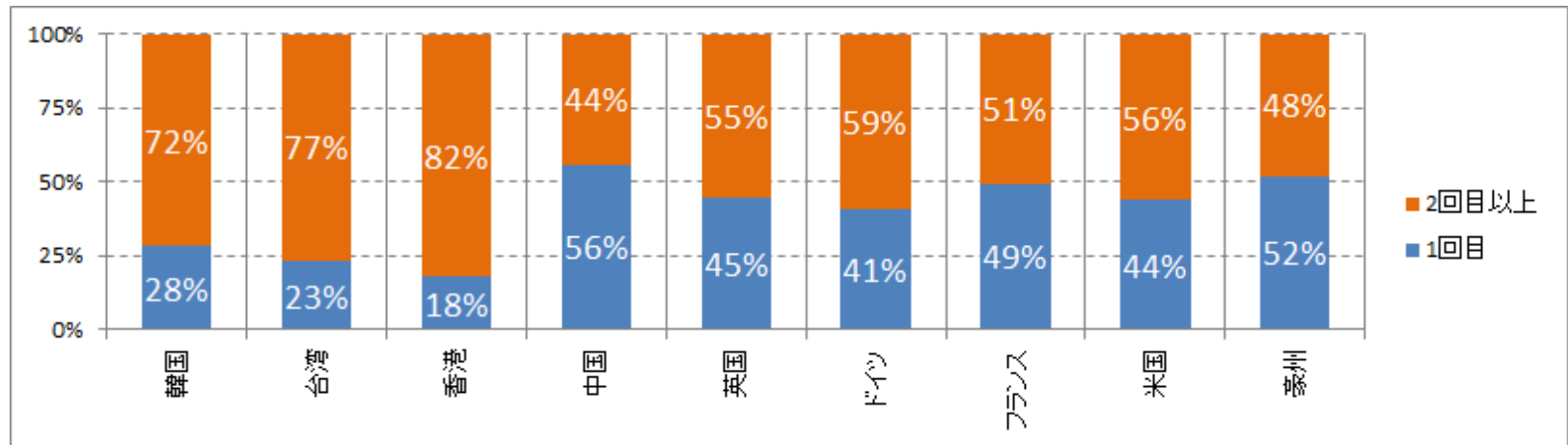
【訪問回数】



【同行者（複数回答）】



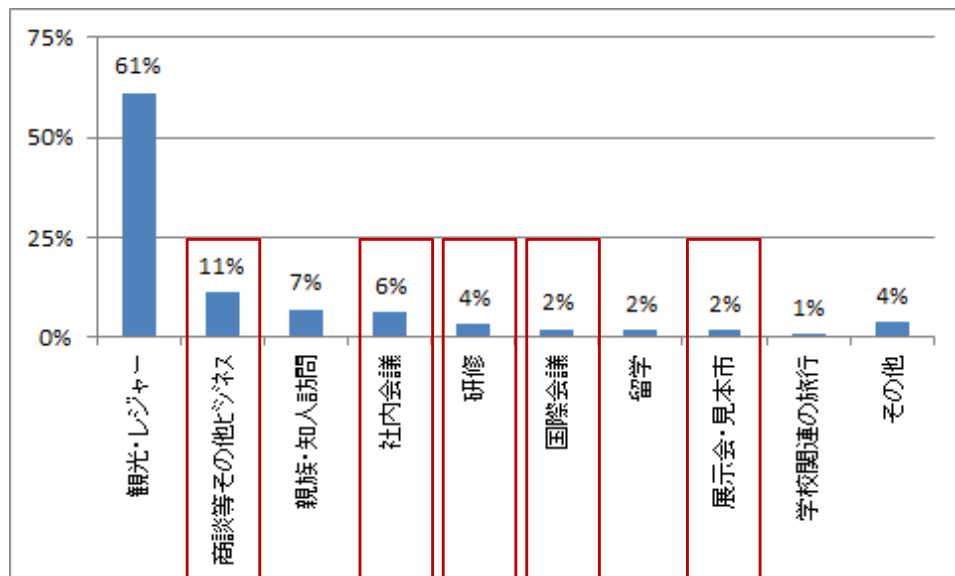
【国・地域別訪問回数】



出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTB総合研究所にて作成

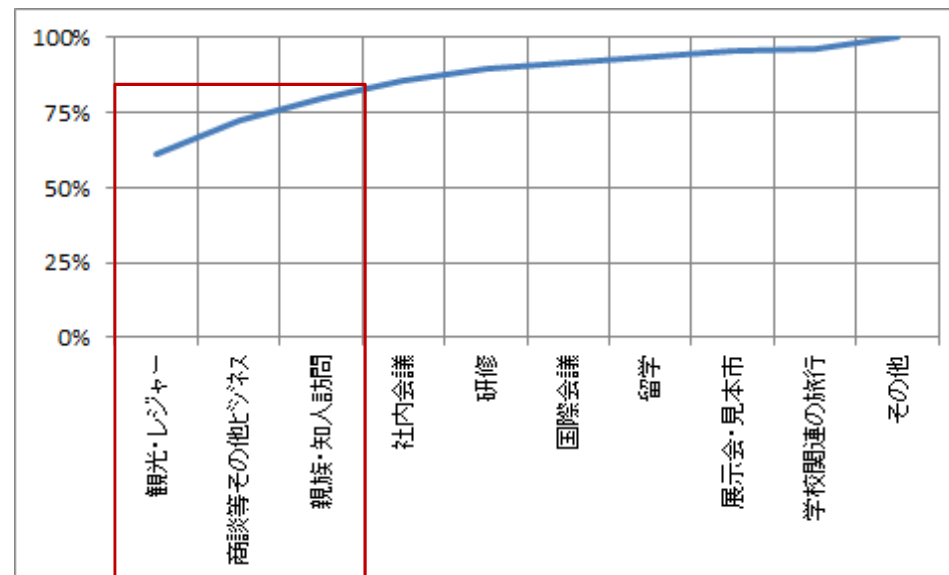
- 訪日旅行の目的は観光・レジャーが60%を占め、商談、MICE、研修などビジネス目的は25%を占める
- 上位3目的で全体の8割程度

【主な来訪目的】 ※降順



**ビジネス関連25%**

【主な来訪目的（累積）】

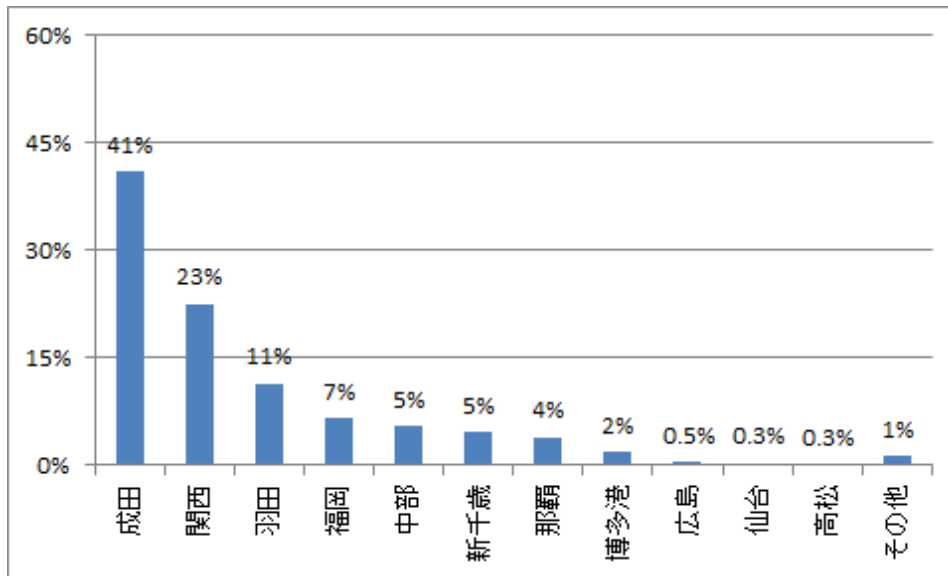


**79%**

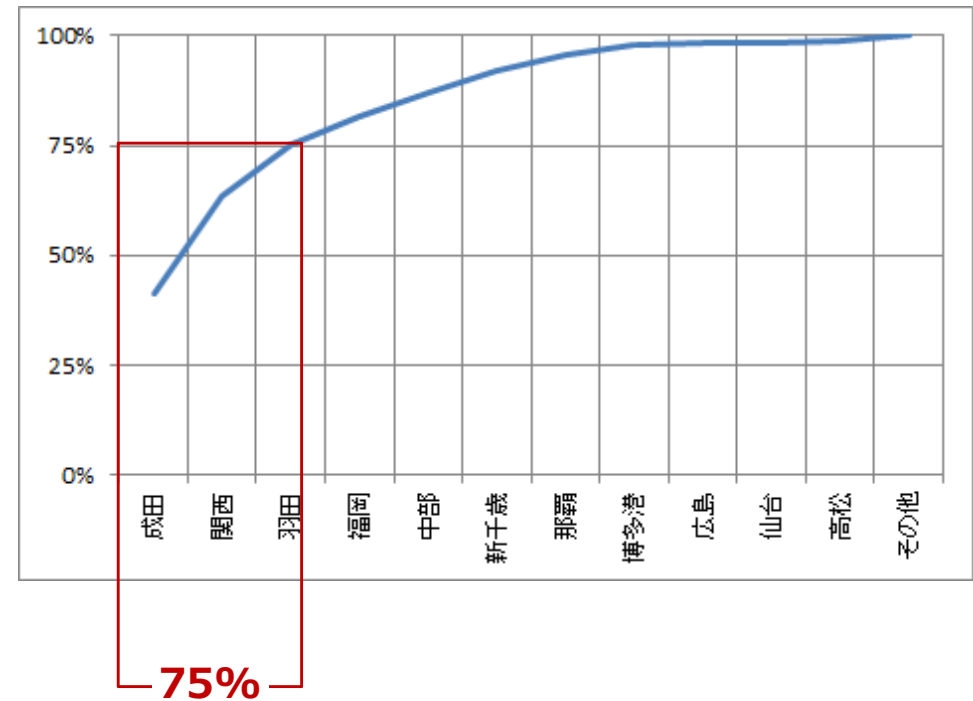
出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTB総合研究所にて作成

- 入国空港・海港は成田・関空・羽田3空港で75%

【入国空港・海港】



【入国空港・海港（累積）】



出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTB総合研究所にて作成

- 入国空港・海港所在地と主な宿泊地域との相関は高い
- 東北、北陸・信越地域の滞在者は、成田からの入国が多い

【主な宿泊地域と入国空港・海港】

	北海道	東北	関東	北陸 信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
新千歳	70%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
仙台	0%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
羽田	4%	12%	20%	14%	4%	2%	7%	7%	1%	2%
成田	18%	66%	70%	63%	21%	13%	17%	11%	4%	5%
中部	0%	1%	1%	6%	66%	1%	0%	1%	0%	0%
関西	3%	1%	7%	11%	7%	83%	27%	31%	2%	1%
広島	0%	0%	0%	1%	0%	0%	32%	3%	0%	0%
高松	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	0%	0%
福岡	0%	0%	0%	1%	1%	0%	14%	2%	69%	0%
那覇	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	92%
博多港	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	23%	0%
その他	5%	1%	1%	4%	1%	1%	3%	4%	1%	0%

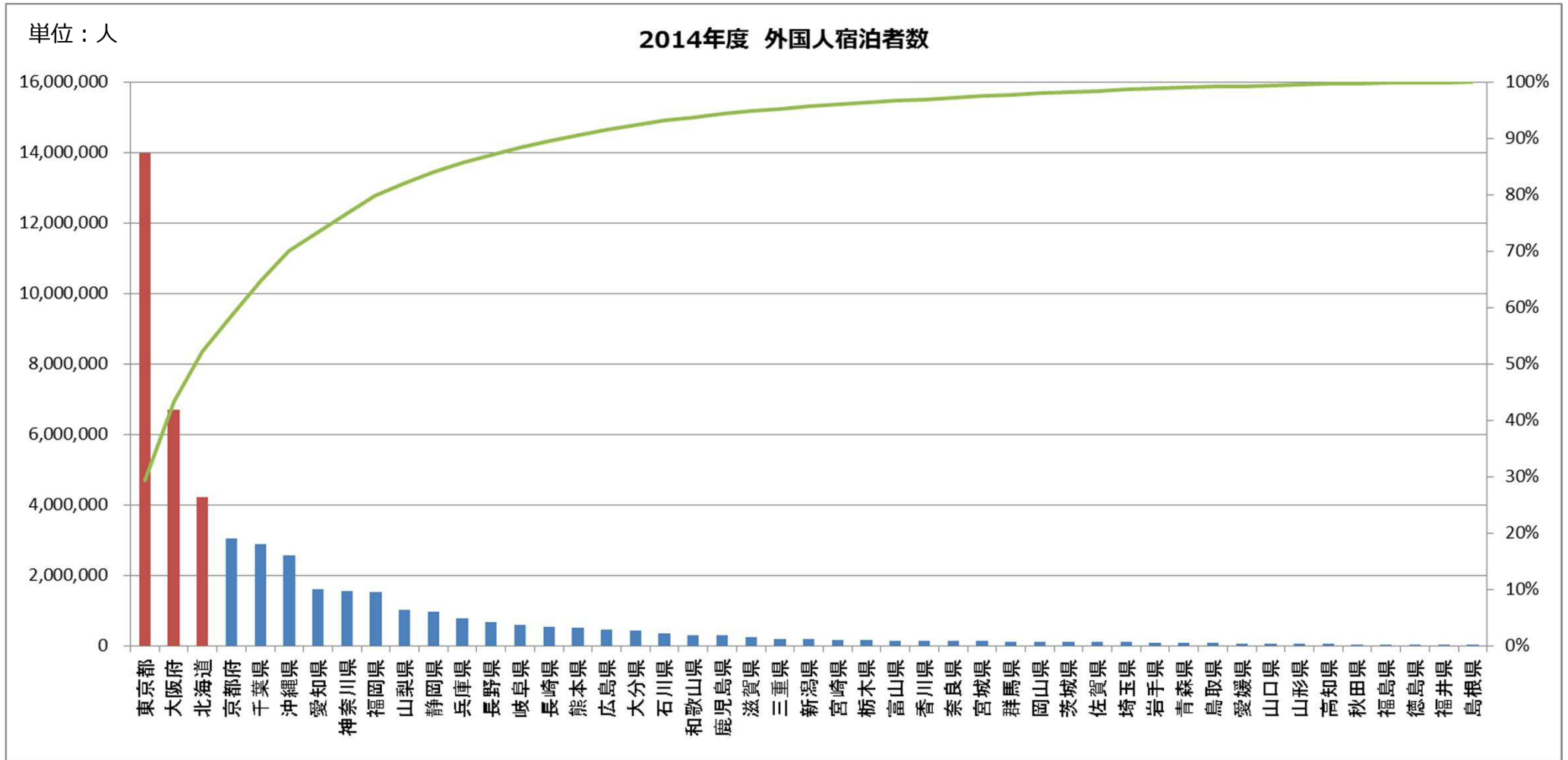
表頭：沖縄のみ総合事務局その他は運輸局

出典：観光庁 訪日外国人消費動向調査平成26年（2014年） 暦年 第1表 国籍・地域（19区分）別 回答者属性および旅行内容に基づき JTJ総合研究所にてデータテーブル作成



宿泊施設における訪日外国人旅行者の位置づけ

- 東京・大阪・北海道では延べ宿泊者数に占める訪日外国人旅行者の割合が20%を超えており、大都市圏を滞在拠点とする傾向が窺える



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査2014年4月～2015年3月計よりJTB総研作成

## 属性

- 訪日外国人消費動向調査によると、男女比は概ね 1 : 1
- 年代構成比で見ると20's~40'sで全体の7割以上を占め、30'sが最も高い

## 旅行形態

- 4~6日間の滞在日数がおおよそ5割と最も多く、4日間~13日間の滞在で75%を占める
- 訪問回数は2回以上が6割
- 同行者は家族・友人が最も多く、概ね同水準で自分一人が続く

## 旅行目的

- 来訪目的は観光・レジャーが60%、ビジネスが25%
- 上位3目的で全体の80%程度

## 入国 滞在

- 入国空港・海港は、成田・関空・羽田3空港で75%
- 入国空港・海港所在地と主な宿泊先の相関は高い

**訪日外国人旅行者は、「台・韓・中・香・米」が75%を占め、60%が「観光」を目的に、25%が「ビジネス」を目的に来訪している。滞在日数については、「4~13日間の滞在」が75%を占め、入国・滞在地域については、特に関東・関西の大都市圏に集中している。**

## 訪日中の情報収集について

## 旅行先でどのような情報を集めたのか？（上位5項目）

- 台湾、韓国、中国、香港は、いずれも「観光地等の見所や内容」が1位であるが、2位以下の項目は様々であり、その収集度合いも異なる
- 米国の「現地発のオプションツアー」が1位というのは特徴的であり、移動情報よりも滞在の仕方についての興味度合いの高さが窺える

### 台湾

観光地等の見所や内容	100
現地の交通機関	79
予約した航空機・宿泊施設・旅行等	77
空港⇄宿泊施設間の移動交通	73
観光地等の地図	73

### 韓国

観光地等の見所や内容	100
現地の交通機関	79
飲食物の内容	77
観光地等の地図	72
ショッピング	58

### 中国

観光地等の見所や内容	100
レストラン・飲食店	85
現地の交通機関	84
ショッピング	84
観光地等の地図	81

### 香港

観光地等の見所や内容	100
現地の交通機関	89
空港⇄宿泊施設間の移動交通	86
観光地等の地図	83
レストラン・飲食店	77

### 米国

現地発のオプションツアー	100
レストラン・飲食店	96
観光地等の見所・内容	88
予約した航空機・宿泊施設・旅行等	83
飲食物の内容	81

※1位となった項目を100として2位以下をINDEX化

出典：JTB総研独自調査 2015年1月～2月 WEBアンケート調査より

## 情報収集源とほしい情報

- 情報手段として多く用いられたのは、台湾、韓国、中国、香港では「スマートフォン」であり、米国は「パソコン」であった
- 5か国・地域は滞在中の情報として、「無料Wi-Fi」が最も必要と考えており、次いで「交通手段」となっている

日本滞在中に役に立った旅行情報源（複数回答）

(単位：%)	台湾	韓国	中国	香港	米国
インターネット（スマートフォン）	57	53	49	56	42
インターネット（パソコン）	30	17	26	33	46
宿泊施設	20	8	10	20	14
空港の観光案内所	20	7	11	22	13
観光案内所（空港除く）	19	10	12	16	15
日本在住の親族・知人	9	12	16	5	41
旅行ガイドブック（有料）	6	7	6	8	12
フリーペーパー（無料）	3	9	3	3	4
その他	4	2	7	3	4
特になし	16	20	22	14	9

日本滞在中にあると便利だと思った情報（複数回答）

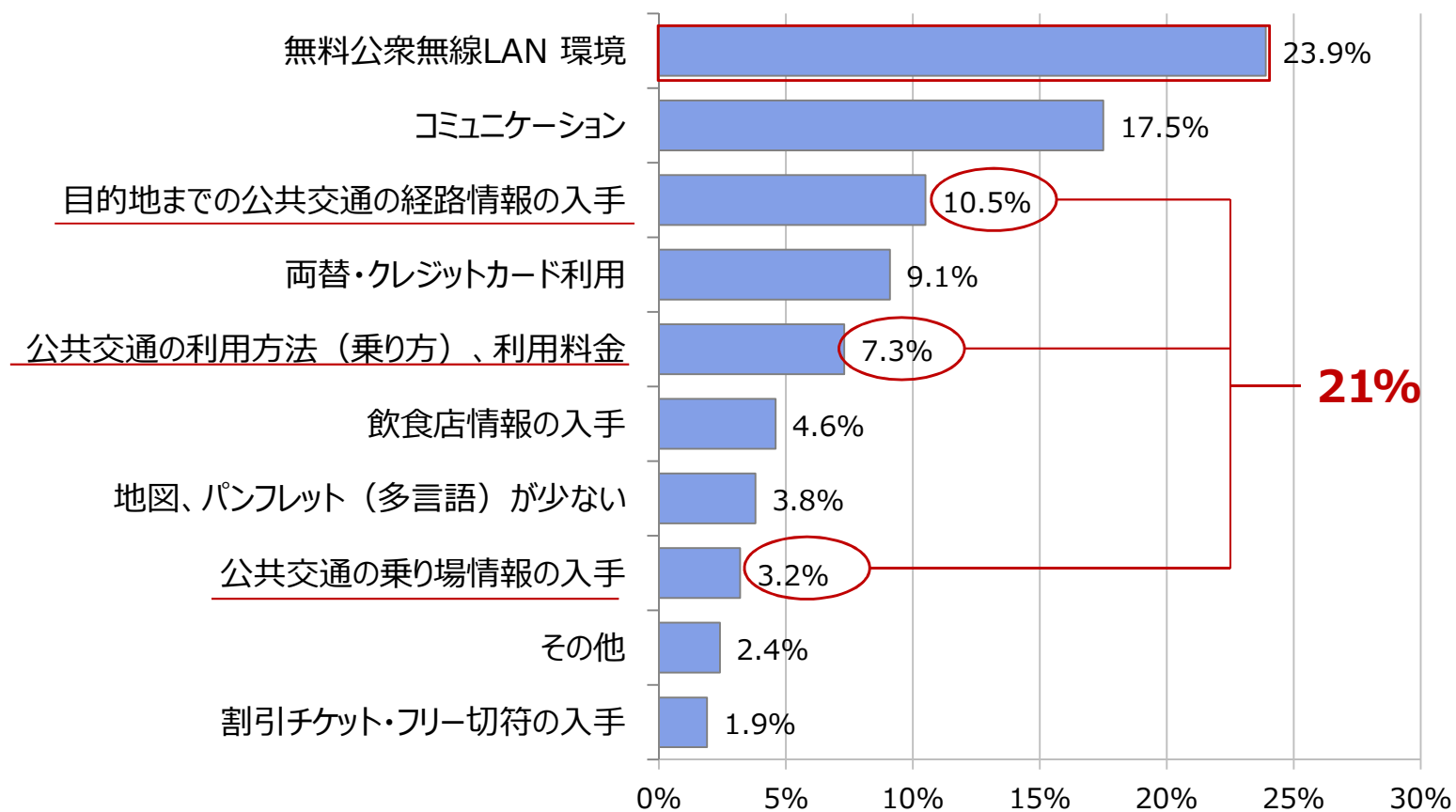
(単位：%)	台湾	韓国	中国	香港	米国
無料Wi-Fi	59	41	52	61	33
交通手段	57	22	47	54	55
宿泊施設	37	15	28	35	16
飲食店	33	14	38	34	46
観光施設	33	7	23	35	14
買物場所	31	8	43	30	14
イベント	18	3	10	12	12
土産物	17	4	18	13	8
両替所	5	3	5	4	9
現地ツアー	4	3	3	3	3
ATM	3	3	8	4	18
宅配便	3	1	3	2	2
その他	1	4	1	1	3
祈祷室	0	0	1	0	0
特になし	8	27	14	7	15

出典：観光庁「平成26年 訪日外国人消費動向調査」に基づき JTB総合研究所にて作成

## 訪日旅行中に困ったこと

- 旅行者が最も困ったことは「無料公衆無線LAN環境」が23.9%で最多となっている
- 上位10項目のうち、3項目が公共交通機関に関する情報についてである

### 旅行中最も困ったこと 上位10項目



出典：観光庁「平成23年 外国人旅行者に対するアンケート調査」に基づき JTB総合研究所にて作成

## 取得情報

- アジア圏（台湾、韓国、中国、香港）は、いずれも「観光地等の見所や内容」が1位
- また、アジア圏の2位以下の項目は2様々であり、その収集度合いも異なる
- 米国は「現地発のオプションツアー」が1位であり、滞在の仕方についての興味度合いの高さが窺える

## 収集手段 必要情報

- 収集手段は、台湾、韓国、中国、香港では「スマートフォン」であり、米国は「パソコン」であった
- 米国は、「日本に滞在中の親族・知人」から情報収集するケースが多く見て取れる
- 滞在中に必要な情報としては、「無料Wi-Fi」が最も多く、次いで「交通手段」となっている

## 訪日中 困ったこと

- 旅行者が最も困ったことは「無料公衆無線LAN環境」が23.9%で最多となっている
- 次いで「コミュニケーション」が17.5%である
- 上位10項目のうち、3項目が公共交通機関に関する情報についてである

**訪日外国人旅行者の取得する情報は、国・地域で多少傾向が異なる。  
アジア圏の「観光地などの見所・内容」に対して、米国は「オプションツアーなど」。  
情報の収集手段については、アジア圏は「スマートフォン」、米国は「パソコン」「親族・知人」。  
訪日中に必要な情報、困ったことについて、「無料Wi-Fi」、「公共交通機関」が共通している。**

**ご清聴ありがとうございました。**